

# 岸田清実

## 議会報告

2018  
1.1

岸田清実県政事務所  
仙台市太白区長町1-7-9-401  
TEL 248-8888 FAX 248-8633



## 11月定例県議会報告

11月定例県議会は11月24日召集され、12月14日までの21日間開かれました。議会初日に地域防災調査特別委員長として1年間の調査活動を踏まえた提言を本会議に報告しました

(写真左)。今議会には323億8千万円の補正予算、来年4月からスタートする国民健康保険の県一元化に係る市町村から県への納付金と県から市町村への交付金に係る条例制定等の条例議案、大震災関連の復旧工事等の工事請負契約議案等が提案されました。

国民健康保険の県一元化は来年4月からスタートしますが、11月に県が試算した結果では29%保険料が上がる町がある一方、24%下がるところも出ました。急激な負担増とならないような県の取り組みが求められます。今議会で制定された条例は財政が県で一本化されること

## 知事選後最初の県議会開かる

から市町村で徴収された保険料を県に納付するためのものと医療機関へ診療報酬を支払いために県から市町村へ費用を交付するためのものです。

今回の県議会は10月の知事選挙後にはじめて開かれることから、本会議での一般質問で知事の公約や政治姿勢に関する質問がありました。今議会冒頭での知事による議案説明の中で福島第一原発事故に係る県内の放射能汚染廃棄物の処理についてまったく触れられませんでした。その一方で加美町で行われた知事選告示第一声では8千ベクレル超の指定廃棄物について「焼却ではなく安全に保管へ」とこれまでの焼却方針を大転換させました。どこにも説明が無いままの突然の方針転換であり、県議会冒頭の知事説明でなんら触れられなかったことに疑問や批判が出されました。知事は答弁で「8千ベクレル以下の焼却処理が進むという前提であり、まずはそれを進めることに集中したい」と述べました。

### 災害復興住宅融資

被災した住宅の補修・再建資金に対し、住宅金融支援機構が低利の融資を実施しています。対象は①建設、②補修、③住宅購入、④宅地補修です。それぞれり災証明等の必要書類がありますのでお問い合わせください。

0120-086-353 住宅支援機構お客様コールセンター  
受け付けは2018年3月31日まで。

## 来年度予算調製方針質疑

11月定例県議会に先立つ11月16日に来年度予算調製方針に関する予算特別委員会が開催され、私が社民党県議団を代表して総括質疑を行いました(写真右)。まず新しい高校入試制度について質問し、中学校側、高校側の作業量、負担がどうか、新しい入試制度に関する学校、生徒、家庭に対する周知期間が短いことに対する対策などの所見を求めました。次に原子力災害に係る広域避難計画を取り上げました。広域避難の際に放射能検査を行う退却検査ポイント設定のめどと個所数の見通し、個所数に見合う資機材の整備計画を明らかにするよう求めました。



## 総務企画委員会

11月県議会から常任委員会の所属が総務企画委員会に替わり、はじめての委員会が12月12日にありました。今回の委員会には停止中の女川原発から核燃料税を徴収するため出力割という税目を新設する条例案が提出されました。これまでの価額割は発電しないと核燃料税が徴収できませんでしたが、それに出力割を加えるものです。停止中の原発でも周辺の安全対策を進める必要があり、その費用に充てることとなります。総務企画委員会で私は今回の条例化が再稼働の前提となるのかと質問し、佐野総務部長から「再稼働を前提とするものではない」との答弁がありました。

## 防災豆知識

### いざという時備えておくもの

懐中電灯(予備の電池を忘れずに)、応急医薬品(風邪薬、腹痛薬、止血帯・包帯、三角巾、湿布、大きめのばんそうこう、消毒薬、いつも服用している薬)、携帯ラジオ(予備電池も)、携帯電話(充電器も)



# 岸田清実のあしあと

## 逆流対策を要望



太白区郡山の旧筑川遊水池から大雨のときに農地へ水路を伝わって水が逆流するとの指摘を受け、12月5日に県河川課に調査と対策の要請をしました。

## 退職者団体から県に要望



宮城県高退連合(労組OB組織)から県に対する介護保険制度等の要望に対する回答の場が11月13日持たれ、同席しました。介護・医療の制度運用が利用者本位のものになるよう求める要望で、県としての考え方が示されました。

## 強盗事件現場に街灯



今年3月5日夜に太白区郡山地内で帰宅途中の女子大生がなぐられ強盗に合いましたが、11月10日にその周辺が暗いと不安の声が寄せられました。早速太白区役所と掛け合い、街灯の新設と既設街灯を覆っている木の葉の剪定を行うことになりました。

## 東北電力からヒアリング



宮城県議会脱原発県議の会は12月12日に第12回学習会を開催し、東北電力株式会社から「原子力発電所の廃止措置について」「再生可能エネルギーの取り組みについて」の2点に関してヒアリングを行いました。脱原発県議の会は2015年12月に20人で結成され、私は事務局長で学習会の司会を務めました。

## 県議会と若者との意見交換会



県議会改革の一環として県民との意見交換の場づくりが課題となっていますが、その先駆けとして10月24日に「若者との意見交換会」を実施しました。公募などで募集した皆さんと3グループに分かれて意見交換しました。

## アレルギー問題で報告受ける



超党派の県議会アレルギー問題研究会を開き、県教育委員会が行った県内市町村への学校給食アンケートの集計報告を受けました。給食のアレルギー対応で自治体間かなりのギャップがあると感じました。私は研究会の世話人を務めています。

## ジェット戦闘機の低空飛行中止要請



秋保町石神地区上空を9月と11月にジェット戦闘機2機が爆音を響かせて低空飛行しました。町内会の全員協議会で話し合い、12月15日に住民の安全確保、観光への影響などを踏まえて県が低空飛行の中止を関係機関に働きかけるよう私も同席して町内会長から伊藤県企画部長に要請しました。

## 私学振興大会



宮城県内の小中高の私学に対する私学助成の充実を求めて10月25日、宮城県私学振興大会が電力ホールで開催され参加しました。私は東北工大電子工高(現城南高校)出身で、県議会の私学議員連盟のメンバーにもなっています。

## 4会派で知事要望



みやぎ県民の声、共産党県議員団、社民党県議団、無所属の会の4会派21人が12月11日に合同で来年度予算に関する13項目の緊急要望を村井知事に提出しました。

## 労組から交通規制で県警へ要望



仙台市交通労組(市営バス、地下鉄の労組)から県警に対して信号運用の改善などの要望を10月25日に行い、それに向けての調整を私が行いました。要望について県警から関係警察署におろして検討し、その後回答を受けることにしました。

## 渋滞で横断歩行者が危険



仙台バイパスの太白区中田付近に新たな交差点ができ、そこに接続する仙台市道が毎朝渋滞して横断歩道を渡る児童・住民が危険を感じていると相談がありました。11月21日に地元の町内会役員と現場を確認し、12月20日には町内会役員と県警に信号設置を要望しました。